

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	奈良県広域消防組合			代表者名	消防長 寺崎 至亮
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	情報システム課	連絡先電話番号	0744-26-0119
担当者役職	指導官	担当者氏名	増田 通久	連絡先E-mail	
住所	634-0816 奈良県橿原市慈明寺町149番地の3				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	DX推進プロジェクト
概要	厳しい財政状況の中、災害増により業務量は増加しており、より効率的かつ効果的な組織運営が必要となる。アドバイザーの方に当組合の運営状況を把握していただいたうえで、専門的第三者視点から見た有効なデジタル化の提案及び縮小・削減できる業務の検討に、数多くの助言をいただきたい。		
支援を求める分野	働き方 その他		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	199	令和6年10月3日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻		
	令和6年9月30日	支援・助言	15時00分	17時00分	
				活動時間(分)	120

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山澤 浩幸
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	<ul style="list-style-type: none"><li>・初回の協議であるため当組合の現状を聴取しながらの進行であったにもかかわらず、当組合の抱える現状の課題に対して同規模の自治体での取り組み状況を参考に意見をいただくことができたこと。</li><li>・講師の自治体職員としての実体験から、先進的なシステムの導入リスク(継続困難性)があること及びシステムは日進月歩のため適時見直しが必要であることについて助言をいただき、システム導入に対する認識を深めることができたこと。</li><li>・講義後、すぐに講義内容及び関係資料を提示いただき、講義内容の整理につなげることができたこと。</li></ul>
アドバイザーへの要望事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後、当組合の課題解決に向けて詳細な助言をいただきたい箇所を提示することで、より具体的な助言をいただきたい。</li><li>・DX推進プロジェクトを有効に運用するための手法について伺いたい。</li><li>・全ての会議を通して、課題に対しての講師からの助言をまとめたい。</li></ul>

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	4人
	属性	自治体職員	住民
		企業・団体	その他(学生など)
	人数	4	

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	事務職員の人員削減につながるシステムの導入及び業務改善として不要な業務の廃止や変更に向け、DX推進プロジェクトを立ち上げて検討を進めている。現在、当該プロジェクト内で抽出された課題の解消に取り組んでいるが、当組合職員だけで解決していくことは困難である。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	事務職員の人員削減につながるシステムの導入及び不要な業務の廃止や変更を進めていくために、デジタル化を含めた業務改善を進め、職員個々の不要な負担を減らし、現場対応職員の人員配備を強化することによって、質の高い住民サービスの提供を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 受付勤務員の必要性について、インターホン、監視カメラ及び防犯ネットなどで代替できるのであれば積極的に進めるべきではないか。</li> <li>• 先進的なシステムは高額な費用がかかる割に継続しないことが多いこと。システムの定期的な見直しの必要性に留意すること。要件仕様書の作成に係る助言、ロボの採点基準の考え方の教示。</li> <li>• 職員間の情報共有にチャット（ラインワークス）を利用している団体もあり検討してはどうか。</li> <li>• 電話対応の変更は一定の業務改善は図れるが、電話音声対応を煩わしいと感じる住民もいる。</li> </ul>	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• DX推進プロジェクトに係る課題解決の方向性について自信を深めることができた。</li> <li>• システム導入時の選定基準の一部を整理することができた。</li> <li>• チャットに関して、職員間の情報共有の重要性（既読の確認）について理解することができた。</li> <li>• 勤怠管理システムの導入を見送っている現状であるが、消防の勤務体制（24時間勤務）であっても有効なシステムは存在していることから、人事給与システムと併せて更新することの可能性について改めて検討することができたこと。</li> </ul>	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない現時点で具体的な成果物はない。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	次回以降の協議で各課題について助言をいただく予定であるため、現時点で具体的に改善又は解決されなかった内容はない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートは実施していない。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 当組合から詳細な情報及び課題を提示するとともに、講師からの質問について事前に情報交換を行うことで次回以降の具体的な協議の実施につなげる。4・5回目の協議時には正式に課題解決策をまとめたい。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DX推進プロジェクトでの課題解消のため、講師からいただいた助言を一つの指針として反映させていきたい。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい**

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

